

第9回利賀地域義務教育学校設置協議会会議録（要点記録）

【日時】 令和5年10月23日（月）開会：午後5時 閉会：午後6時30分

【場所】 利賀市民センター 2階会議室

【出席委員】 成瀬 喜則 委員長 松本 謙一副委員長 高田 公美 委員
吉尾 徹 委員 瀬戸 広美 委員 扇澤 文夫 委員
高瀬 夕紀 委員 須河紗也子 委員 米倉 宗嗣 委員
南田 哲幸 委員 城岸 千秋 委員 米倉 健太 委員
邑上 貴厚 委員 平田ふさ子（代理）

【事務局員】 教育部長 笠井 学 教育総務課長 氏家 智伸
教育総務課副参事 山本 佳和 教育総務課主幹 山田 浩司
南砺市教育センター長 高川 芳昭 総合政策部こども課長 溝口 早苗
利賀市民センター統括 久保 剛志

1 委員長あいさつ

委員長 協議を重ね、いよいよ今日が最終となります。骨子が今日で固まりますが、気持ち的にはこれからスタートしていくものであらうと思います。開校式に向けていいスタートが切れるよう、今日の協議を皆様と進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

2 報告事項

（1）第8回協議会（令和5年8月8日）議事録について

事務局 【資料1の説明】

委員 その他の項目の2行目に、「魅力ある学校づくり委員会」とありますが、正しくは、「利賀の魅力ある学校づくり委員会」です。

3 協議事項

（1）各部会からの提案及び進捗状況について

① 事務部会

委員長 事務局から校章についてお願いします。

事務局 前回の協議会で選ばれた3つの案を事務局で整えました。その案が資料2です。デザインを決めてから色付けをするということでしたので、色を付けたものも準備してあります。この場でまずは①か②か③の中から1つを決めていただきたいと思います。

委員長 皆さんからご意見をいただき、もしも決まらなければ多数決になると思いますが。何か提案はありますか。

事務局 事務局はありません。

委員 地域・PTA部会也没有ありません。

委員長 では、意見をいただきながら決めたいと思います。

副委員長 皆さんの合意があれば、それを委員会全体の合意ということで了承をもらいたいです。

委員長 ①と③は「利賀」の文字のフォントが若干違うのは意識的ですか。

委員 作成者の方の思いだと思います。

事務局 作成者の方が書かれたものを意識して整えました。全く同じものはではありませんが。

委員 感性の問題なので、私は③がいいです。ササユリは利賀の代表的な物でもあるので、すごく栄えていると思ったからです。②の金剛堂山も個人的には好きですが、それよりもササユリの方が絵として栄えていると思ったからです。

委員長 ③の「利賀」のフォントが特色あるのですが、もしもこのまま③に決まったら、フォントはこのままですか。

委員長 作者の意図もあるので、このままだと思います。

事務局 ①は手描きだったので、似せて作成してあります。

委員長 ③はササユリと川の線の太さを合わせているような感じがします。川の流れを利賀という文字に込めているのかもしれないと思いました。①はきちんとしており、左右対称でいいです。

副委員長 校章としてわりと多いのは①だと思います。③は今時という感じがします。令和にできた学校という感じがします。

委員長 ①は落ち着きというか安定感があります。③は左右対称ではないので、②もそうですが。

委員 ②も「TOGA」という文字が体操服と同じロゴなのでいいと思っています。しかし、ササユリと利賀の方は、南砺市で利賀という名前が残っていくという意味もあること。また、漢字で残したいという思うもあるので③がいいと思います。

委員 私も③を選びたいです。①は小学校と中学校の物を利用することは悪いことではないが、それをあえてやりたいとは思いません。②はローマ字の横文字を使っています。見た目はいいかもしれませんが、実際に使う時にどうなのかなと思います。

委員 個人的には①がいいと思います。文字のフォントがいいです。

委員 私は③がいいです。

委員 私も利賀を離れてみて、利賀はササユリと川が有名だったという思いが残っているので③がいいです。

委員 私も③が相応しいと思います。

委員 ギリシャへ行き店に入ると「トンガ」「トンガ」と言ってくれるので、②の形を残したらいいと思います。

委員 私はササユリを残したいので③です。

委員 私も③です。若干「利賀」の貝の下が少し開いているのが気になります。しかし、もう少しスマートになったらいいと思います。

委員 ③が利賀らしくていいです。しかし、フォントが気になっていて、漢字テストでは無いですが、「利」のりっとうの最後は、はねるので少しはねてほしいです。

委員 私は①が好きです。すっきりとしているからです。③は柔らかくて優しくて女性的なイメージが感じられます。①は男子にも女子にも受け入れられると思います。

委員長 全体的には③という声が多かったように思うのですが、フォントが気になると言う声もありました。もし今③と決めたらフォントを変えることは可能なのでしょうか。

事務局 既存のフォントなのか、文字もデザインして書いたのか、既存のフォントならそのフォントを使ってもいいのかという疑問もあります。

副委員長 もしも③になるなら、今の意見に合わせて少し修正があるかもしれないということでもいいですか。

委員長 よくあるのは権利の関係で、このフォントが使えないことがあります。テレビ等の文字

は独自の文字を使っています。我々は普通に文書作成ソフトの文字を使いますが、使えないということもあるらしいので、その確認ですね。利賀の文字の2点についてどうでしょうか。

委員 その確認は私の方でします。

副委員長 ③をベースにして校章を決めるということでいいですか。

委員長 この会議は今日が最終日なので、そうしましょうか。

委員 作者名を言ってもいいですか。

事務局 作者は公にして報道しますか。

副委員長 決まったなら、しなければいけないと思います。

委員長 もう一度確認ですが、案③を選択する。で決めたいと思いますがご異論ありますか。

委員 異議なし

委員長 異議がないようですので、案③とします。但し、作者の意図がありますのでフォントを若干検討し変更できるのかというところを聞いてもらい、無理だと言われたら③そのままとします。最終的に決まったものをどのようにアナウンスするのですが、少なくともこの委員には伝えないといけないと思います。その段階で、作者はの方ですと言っても構わないと思います。

副委員長 新聞に載せたいのではないですか。

委員長 まだ案なので。

事務局 最終的に決まったものは、印刷して配らせてもらうことはできます。

副委員長 新聞発表には、〇〇さんが考えられたデザインを基にして作ることが決まりました。でいいのではないですか。

委員長 このデザインは決まっていなくて公表できないのではないですか。

副委員長 この案をベースにして。という言い方で新聞に載せるのではどうですか。

委員長 それでよろしいでしょうか。案と実際は違って来るかもしれませんが。

副委員長 これで決まったので、作者を発表してもいいのではないのでしょうか。

事務局 本人が了解し、発表してもいいかを聞かなければいけないのではないのでしょうか。

委員 発表しても大丈夫です。

委員 利賀中学校の卒業生の「野原 優」さん。女性で、年齢は22歳です。利賀小中学校の卒業生です。

副委員長 卒業生であるということが重要だと思います。

委員長 最終的に決まったものを皆さんにお知らせしてください。

副委員長 色はどうしますか。

事務局 次のページにカラーの見本がありますので、その中から決めていただきたいです。

委員長 ベースを何色にするかをまずは検討いただきたい。

事務局 校旗のバックの色を決めていただきたい。スクールカラーになるのではないかと思います。よくあるような紫と紺、深緑、臙脂色を代表として掲載してあります。

委員 ネクタイの色で校旗のバックの色を考えると難しくなり、ネクタイの色となるとこの色っていうのがあるのですが、校旗の色となると考えます。

委員長 校旗の色と校章の色は別ですか。

事務局 校章には色がないと思うのですが。

委員長 色がないと言うことは、白の認識ですか。

委員長 ネクタイの色に関係なく、校旗の色を考えればいいのではないですか。

委員 その資料のササユリは白色になっていますが、白に近いピンクとかになりますか。

事務局 色を付けられるかは分かりません。

委員 ササユリの花の色が、白に近いピンクという話もあったので、花のラインを金色にして、その中の花びらを銀色にするというのは可能なのでしょうか。

副委員長 利賀の文字と花びらの中が銀色になるということですね。

委員長 整理します。3番の右上のデザインをベースとして、利賀の文字とササユリの花びらを銀色にします。

副委員長 花びらの外側だけを金色にするんですね。

委員長 ササユリの枝と川も金色という意見のようですが、どうですか。そして、背景は紺色でいいですか。

委員 やっぱ、紺か緑の選択肢だと思います。

委員 緑はもう少し鮮やかな緑がいいと思います。

委員長 南砺市立利賀学舎の文字は金色でいいですか。

委員 この後、地域・PTA部会を開くことがあります。その中で、今日出た意見で再度直したデザインをもらい、そこで決定させていただくわけにはいかないのでしょうか。

委員長 地域・PTA部会の決定に従うということによろしいでしょうか。

委員 はい。

委員長 では、校章は決定したということで、次にいきたいと思います。

委員長 次に、閉校式・開校式についてお願いします。

事務局 閉校式につきましては、令和6年3月24日（日）9時から小学校です。10時40分から中学校を予定しています。同じ体育館を使いますが、小学校、中学校と別々に開催した方がいいのではないかと考え提案させていただきます。式次第は、井口小中学校の閉校式のものを参考に作成してあります。

委員長 閉校式は、これによろしいでしょうか。

事務局 細かな部分につきましては、1月に市教委と教職員等で練っていこうと思っていますので、その時に地域の方のご意見もいただきながら進めたいと思っています。

副委員長 小中学校が別々に行うことでいいですか。

委員長 別々の学校ですし、この形でいいと思います。では、次に開校式についてお願いします。

副委員長 教育事務所にも確認したところ、次の週の月曜日から高校の入学式が入ってくる可能性が高いことが分かりましたので、4日の午前中に開校式、午後から始業式、そして、5日に入学式としないと高校の入学式と同じになるので、この様な日程になると思います。南砺市中の学校がそうなる予定です。市長の日程は押さえてあるということです。

事務局 これで決定でいいですか。

副委員長 市の教育委員会で確認し、承認を取りたいです。

委員長 それでは、ここではこれで決定でいいですね。

委員 そうなると山村留学の子供たちは3日に入園になります。

委員 平日の3日間を空けなければいけない保護者が出てきますので、少し厳しいと思われます。

副委員長 しかし、土日を挟んだら金曜日が始業式で、月曜が入学式になります。

委員 それはもっと厳しいです。

副委員長 やはりこの日程が、山村留学の保護者にとっても一番いい形ではないでしょうか。開校式に巡り会うことはめったにないことで、開校式と始業式を午前と午後でやることが一番迷惑をかけないことになるのではないかと考えています。

委員長 開校式は4月4日ということで話を進めてください。

委員長 続きまして、開校に向けての準備状況をお願いします。

事務局 資料は予算についてです。今年度中に整備を行うもの、来年度に入って整備を行うもの、2つに分けてあります。今年度どうしても整備しなければいけないものとして、閉校式にかかる経費です。記念品ですが、これは開校式に合わせて作成するものですが、新年度に入ってからでは間に合わないので、今年度中に準備をしたいと思っています。備品などの購入ですが、校章や校旗、学校内外の銘板や看板、校歌の揮毫やそれに伴う費用等につきましては、今年度の予算で整備したいと思います。次に、開校式にかかる費用や、備品として玄関幕や旧の校旗の額、その他生徒会等の旗等につきましては新年度の予算と考えています。また、施設の改修として生徒玄関の下足箱や職員室のLAN等の変更につきましても、新年度に入ってから十分検討した上で、整備していきたいと思っています。その他にも小さいものとして、校名入りの封筒の印刷やゴム印等も新年度予算で対応していきたいと思っています。

委員長 何かご意見ありますか。

副委員長 確認ですが、マルチスペースの直したいところも新年度予算に入れておかなければいけないのではないですか。

事務局 学校と事務担当の方と新年度予算で検討を行う予定としています。

委員 6年度の備品購入費の中に、玄関幕が入っていますが、開校式には間に合うのですか。

事務局 間に合いません。開校式には現在の物を使っていただくことになります。

副委員長 今の意見では、できれば間に合わせられたらいいのではということですね。

委員 是非、間に合わせていただきたいをお願いしたい。校旗ができる間にできないでしょうか。

副委員長 今の考えについては、前向きに考え、1回は検討してもらおうということで、ここでは納めてもらえないでしょうか。時間的なこともあります。業者がやってくれるとなれば、補正に入れていかなければいけないと思っています。

事務局 できるかどうか、至急確認します。

委員 できるだけ善処いただきたいです。

委員 つばき学舎は開校式の時に何を使ったのですか。

委員 古い玄関だったので、小学校の校章入りの玄関幕を使いました。1年間使いました。

事務局 校舎の完成が間に合わず、小学校の玄関を使っていたので。

副委員長 今の話は、できるものからすぐに対応してもらおうけれど、もしかしたら2年目にそろそろかもしれないということで、お願いします。

事務局 本日お配りした事務部会の資料をご覧ください。「利賀学舎開校に向けた校舎内改装について」です。

1つ目は、マルチスペース的な機能をラーニングリソースセンターに移す案です。当初アーパス図書館をマルチスペース化するという提案をしましたが、図書館はそのまま、現在保管されている図書については、利賀地域づくり協議会と再協議をさせていただきます。変更理由は、アーパス図書館をマルチスペースとして利用するには、エアコンの設置、大型ブラインドの取り換え、窓に転落防止の安全柵、エアコンを稼働させた時の光熱費を考えると維持が難しいという意見が出ました。今のラーニングリソースセンターの方が中学生も小学生も日常使いができ、冷暖房についても今までどおりの使用ができ、無駄がないということでこの案を提案させていただきます。

2つ目は、ラーニングリソースセンターをマルチスペース化するとすると、現在の中学校玄関の方が導線上相応しいと考え、中学校の玄関を利賀学舎の児童生徒玄関としたいという提案です。冬の屋根からの落雪も中学校側の玄関の方が若干安全だという思いもあります。

副委員長 校長先生は金銭面のことを中心に言われましたが。実は、中学校玄関に入ってからすぐの

とろにラーニングリソースセンターがあり、ものすごく使い勝手がよく便利である。そこには、一人ずつのロッカーを設置し、みんなで考えるようなスペースや、一人で学習できるスペース、横たわって少し休憩できるようなスペースを作り、子供たちがその時に応じて自分で場所を選択して過ごしたり、学習したりできる空間にしたいです。また、図書館の貸出のシステムもそこに置くことになります。私も実際に見てきましたが、学校側の提案はいいと思いました。

委員長 変更点は2点あります。よろしいでしょうか。

特に異論がないようなので、その方向で進めたいと思います。

委員長 では、地域・PTA部会に移ります。説明をお願いします。

② 地域・PTA部会

委員 校歌の歌詞については、「利賀中われら」が『利賀の子(こ)われら』になりました。子供の子です。制服と体操服については、9月21日に関係者と制服の業者とで検討会を行いました。基本形はジェンダーフリータイプ3型になりました。全国の採用状況や価格等を鑑み、3パターンに絞り込みました。価格に関しては現在の制服とほぼ同じです。この3パターンを10月28日の学習発表会で保育園の保護者も含めて投票し、その結果を参考に来月早々に地域・PTA部会を開きたいと思っています。投票については、子供たち、教職員も参加することになっています。ネクタイについては今後の協議になります。体操服については、現在の利賀中学校の体操服を採用するか、新しいデザインでいくのかということも、28日の学習発表会で意見を聞きます。体操服の方が早急に決めなくてはいけない状況でして、学習発表会での意見を聞いて早急に決めたいと思います。なお、これらに関して地域・PTA部会で決定させていただきたいことを、この設置協議会でご了承いただけたらと思います。

委員長 10月28日に制服については投票する。それを基にして決める。決定はいつ頃になりますか。

委員 11月上旬には開きたいと思います。

委員長 体操服についても同じような決め方でいいですか。

委員 はい。

委員長 これも地域・PTA部会の方で決めていただくことで、皆様よろしいですか。

委員 はい。

委員長 閉校式の第2部についてお願いします。

委員 利賀地域づくり協議会の「利賀の魅力ある学校づくり委員会」で議論を行っています。閉校式の第2部として、午後から行いたいと思っています。現在のところ6人の登壇者で、シンポジウム形式で行うことを予定しています。登壇者については調整中です。その後、シンガーソングライターの中西圭三さんのミニライブを行い、懇親会を行いたいと思っています。また、「利賀小学校、利賀中学校の歩み」の作成をA3両面印刷で数枚程度の物を作成したいと思っています。閉校式の記念品についても今後検討していく予定にしています。閉校式については、地域づくり協議会では何も考えていません。

委員長 場所はどこでやりますか。

委員 アーパスホールで閉校式が終わったら片づけてやります。

委員長 これで積み残したことは、地域・PTA部会に決定権があるということになりました。

決定した事項は、何らかの形でアナウンスしてもらえますね。

事務局 はい、書面等で送ります。

委員長 それをもって決定承認とさせていただきます。皆様よろしいでしょうか。

委員 はい。

委員長 最後に教育課程検討部会から、利賀学舎リーフレットについてお願いします。

③ 教育課程検討部会

委員 この資料は、前回のこの会議でいただいたご意見を反映させたものです。変更点は、全校での交流の時間7時40から8時5分を「スキルアップタイム」とさせていただきました。これをマルチスペースで行う予定です。

校歌は、「利賀中われら」を『利賀の子われら』に直します。作詞の横に改作と言う形で、育成会の名前を入れます。

中のページでは、前回の資料では、特色4と特色5が一緒になっていましたが、「スキルアップタイムで自己実現」を独立して特色4として入れました。特色5では、ローレン子供村の写真には注釈を入れました。

部活動については検討中と入れてありますが、中々結論が出ず、文化部に関しては引き続き検討させていただきたいです。

裏のページですが、超個別指導のところの注釈の表現を「少人数の利点を生かし、一人一人に学習が成立・補充、発展等いろいろな学び」という表現にさせていただきました。

その他にも微細な変更もありますが、大まかには変わっていません。このリーフレットを小・中学校のホームページに、特認校の申請の時期前にアップさせていただきたいです。また、開校式や閉校式の時にこのリーフレットを配布した方がいいと思っているのですが、印刷会社に頼むと5万円くらいかかるそうなので、相談中です。

副委員長 ホームページに載せるときに、微細な部分では修正が入ることがあります。と明記しておけばいいと思います。

委員長 全体構想図の「なんと利賀学び」ですが、「なんと」は、ひらがなでいいのですか。

委員 名称もまだ、仮称のところもあります。でも「なんと」はひらがなでと思っています。

委員長 はい分かりました。

委員長 これで各部会からの報告は全て終わりましたが、全体を通して何かありますか。

委員長 では、なければ今後の日程に移りたいと思います。

事務局 本日の第9回設置協議会で、設置協議会として協議する事項は終了したと考えています。ご意見等は無いですでしょうか。

事務局 無いようなので、この後、細かなことがいくつか残っていますが、校章や校歌、制服、表札のデザイン、教育課程等に関しましては、それぞれの内容に該当される委員の方のご意見を伺いながら、事務局が主体となって進めさせていただきます。これらのことについて、ご意見があればいつでも教育委員会の方にご連絡ください。必要に応じて相談させていただきます。

委員長 審議事項は全て終わりましたので、事務局にお返しします。

事務局 長時間に渡りまして、ご協議を賜りありがとうございます。事務局の方でも利賀学舎の開校に向けて準備を進め、利賀地域の皆様の期待に応えられるような学校にしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。閉会にあたりまして、松本副委員長よりご挨拶をお願いします。

5 閉会 副委員長あいさつ

副委員長 本日も長時間に渡って、ご意見いただきありがとうございました。お陰様で骨格がだいたい出来上がってきました。この会を開催するだけでも大変ですが、地域の人やPTAの

方々は、今日を迎えるまで、たくさんの方のご意見を聞いて今日を迎えられ、もっと大変だったと思われます。

山村留学と利賀学舎とは両輪となって利賀の地域の方に支えられていく学校になるのではないかと考えています。準備段階で開校式までに間に合うこと、間に合わないことが、それから開校してからもっとこうしたらいいということも出てくると思います。今回のよいところは、それらを後にしてもよいと言ったところです。やってみて必要なことがあれば、少しでも子供たちの学び舎としていい環境を、来年もかかって準備ができると期待しています。

本日は締めと言うことで、設置協議会は閉じることになりますが、また気が付かれたことがありましたら、事務局に教えてください。PTAには一任と言う形で、いろいろなことをお願いする形になりましたが、一番中心にいるのは、幼稚園や保育園や小学校の子供たちやその親ではないかと考えています。その人たちが、これをやってよかったと思えるように、若い人たちが満足できるような形になってくれればいいなと考えています。

県の教育長には、子供にとっていい環境を作りたいからやっているということを何度も言っています。市の教育委員会では、県の教育長に市長からのお願いということで、これまで通りの人事について協力をお願いしてきます。

長い時間でしたが、今日はどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

事務局 以上をもちまして、第9回利賀義務教育学校設置協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。